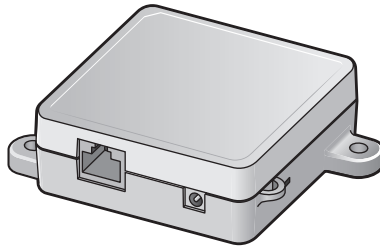


## 取扱説明書

工事説明付き

### アンテナ給電ユニット

品番 WX-SA001



#### 保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(5～7ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。



# はじめに

## 商品概要

本機は、ワイヤレスマイクロホン（WX-ST200、WX-ST400：ともに別売品）用のワイヤレスアンテナ（WX-SA250：別売品）に電源を供給するユニットです。複数の受信システム（ワイヤレス受信機（WX-SR202、WX-SR204：ともに別売品））を無線同期させる場合に使用します。

- 複数の受信システム（ワイヤレス受信機（WX-SR202、WX-SR204：ともに別売品））間の干渉を低減するため、無線同期させて使用する際に必要となる、ワイヤレスアンテナの常時通電が可能となります。
- 本機に接続されたワイヤレスアンテナのアンテナ・フィールド選択設定が可能です（本機にワイヤレス受信機を接続しない場合）。

## 付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）.....	1冊
保証書.....	1式
ACアダプター.....	1個
電源コード.....	1本

## 免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損など不便・損害・被害
- ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④ 本商品の故障・不具合および設定・設置の誤りを含む何らかの理由または原因により、拡声ができないことなどで被る不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

## 略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- アンテナ給電ユニット（WX-SA001）を本機と表記しています。
- ワイヤレスアンテナ（WX-SA250：別売品）をワイヤレスアンテナまたはアンテナと表記しています。
- ワイヤレス受信機（WX-SR202、WX-SR204：ともに別売品）をワイヤレス受信機または受信機と表記しています。

本文中に記載されている別売品などの情報は、2018年4月現在のものです。最新の情報は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 記号について

本書では、以下の記号を用いて説明しています。



- **重要**：該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



- ：使用上のヒントが書かれています。

# もくじ

はじめに

## はじめに

はじめに	2
商品概要	2
付属品をご確認ください	2
免責について	2
略称について	3
記号について	3

設置・設定

安全上のご注意	5
使用上のお願い	8
各部の名前とはたらき	9

## 設置・設定

設置のしかた	10
設置上のお願い	10
固定方法	12
接続のしかた	13
アンテナ、受信機の接続	13
アンテナの接続（受信機なしの場合）	15
設定のしかた	17
アンテナ・フィールド選択	17

その他

## その他

外形寸法図	18
故障かな!?	19
仕様	20
保証とアフターサービス	21

# 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



## 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



## 注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



## 警告



**設置の説明にしたがって壁または、天井にしっかり取り付ける**  
けがや事故の原因となります。

### 電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

### 電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く

コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

### 電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

### 異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る、においがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

### 外郭部にひびや割れが発生した場合は、使用をやめ取り外す

落下の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

### 取り付けねじはしっかりと締める

落下などでけがの原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。



## 警告



禁止

**可燃性ガスの雰囲気中で使用しない**

爆発によるけがの原因となります。

**塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない**

取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。

**不安定な場所に置かない**

落下や転倒によるけがや事故の原因となります。

**付属のACアダプター（極性統一型プラグ）以外は使用しない**

付属のACアダプター以外を使用すると、電圧や＋の極性が異なっていることがあるため、発煙・火災の原因となります。

**コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない**

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

**異物を入れない**

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

●直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

**電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない**

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

●コードやプラグの修理は販売店に相談してください。

**雷のときは工事、配線をしない**

火災や感電の原因となります。



ぬれ手禁止

**ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない**

感電の原因となります。



分解禁止

**分解しない、改造しない**

火災や感電の原因となります。

 **警告**

水ぬれ禁止

**水をかけたり、ぬらしたりしない**

火災や感電の原因となります。

- 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

**機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない**

水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。

- 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

 **注意****工事は販売店に依頼する**

工事には技術と経験が必要です。けが、器物破損の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

**配線は正しく行う**

ショートや誤配線により、けがの原因となります。

**お手入れのときは電源を切る**

けがの原因となります。



禁止

**電源を入れたまま工事、配線をしない**

けがの原因となります。

**ケーブルなどは引っ張らない**

けがの原因となります。

**ケーブルなどを傷つけない**

重いものを載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、けがの原因となります。

**湿気やほこりの多い場所に設置しない**

けがの原因となります。

# 使用上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

## 本機は屋内専用です

- 屋外での使用はできません。  
長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因になります。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

## 丁寧に取り扱いしてください

- 本機は不適切な取り扱いや保管によって損傷する部品が含まれています。
- 部品に欠陥がある場合は、修理または交換してください。

## 使用温度範囲は

- 0℃～45℃です。この範囲外で使用すると、故障または誤動作の原因となります。

## 使用電源について

- 電源電圧はAC100V（50Hz／60Hz）です。十分な容量のある電源に接続してください。

## 長期間使用しない場合は

- 本機を取り付けたままにせず、取り外してください。

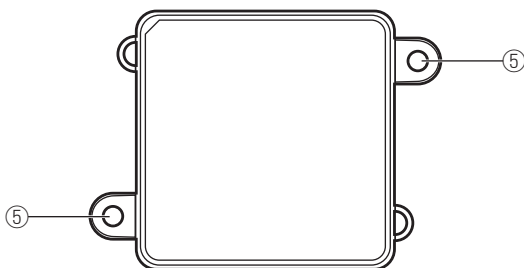
## お手入れについて

- 電源を切り乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

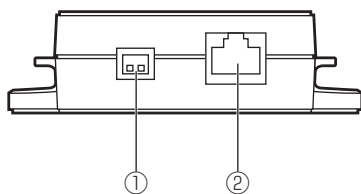


# 各部の名前とはたらき

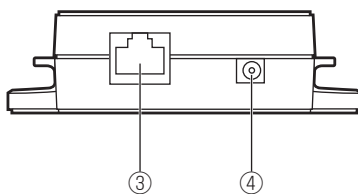
天面



上側面



下側面



## ① アンテナ・フィールド選択設定スイッチ

接続しているアンテナの無線出力レベルを切り換えるスイッチです。  
本機に受信機が接続されていない場合に有効となります。

## ② ワイヤレスアンテナ接続端子

LANケーブル（11ページ）でアンテナと接続してください。

## ③ ワイヤレス受信機接続端子

LANケーブルで受信機と接続します。

本機に接続するアンテナを同期専用アンテナとして動作させる場合は未接続にします。  
詳しくはワイヤレス受信機の取扱説明書の「無線同期設定」をお読みください。

## ④ DC電源入力端子

付属のACアダプターを使用してください。

入力：AC100 V、50 Hz／60 Hz

出力：DC9 V、1 A

## ⑤ 固定ねじ穴

本機を壁などにねじで固定する場合に使用します。

# 設置のしかた

## ■ 設置上のお願い



- 工事は必ず販売店に依頼してください。
- 工事を行う前に、接続する機器の電源スイッチを「切」にしてください。また、「安全上のご注意」をよく読んでその指示にしたがってください。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

工事は電源を入れないで行ってください

- 工事は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。また本システムに接続されているミキサーやアンプなどの電源も切ってから行ってください。接続時にスピーカーから大きなノイズが出て、機器の破損につながります。

本機は屋内専用です

- 屋外での使用はできません。  
長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因になります。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

以下の場所には設置しないでください

- 直射日光のあたる場所や温風吹き出し口の近く
- 湿気やほこり、振動の多い場所
- 結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿度）の多い場所
- ちゅう房など蒸気や油分の多い場所
- スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- 傾斜のある場所
- 塩害や腐食性ガスが発生する場所

使用電源は

- 電源電圧はAC100 V（50 Hz／60 Hz）です。十分な容量のある電源に接続してください。

## 電源について

- 本機に電源スイッチはありません。容易に電源を遮断できるように、電源コードは、必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。
  - 電源コンセントやブレーカーの近くに設置し、電源プラグを介して接続する。
  - 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除く電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

## ACアダプターと電源コードについて

- 付属のACアダプターおよび電源コードは本機専用です。他の機器には使用しないでください。また、他の機器のACアダプターおよび電源コードを本機に使用しないでください。
- ACアダプターが宙づりにならないような位置に、本機を取り付けてください。
- ACアダプターは平らな面に水平に設置してください。

## 静電気について

- 静電気による損傷を防止するために、設置工事の前に、アースの取れた金属製のものに触れて身体に帯電した静電気を放電してください。

## ねじの締め付けについて

- ねじはまっすぐ締めてください。締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。
- インパクトドライバーや電動ドライバーは、クラッチ付のものであってもトルク管理が困難なため、使用すると取り付け部の破損の原因になりますので、使用しないでください。

## 強い衝撃を与えない

- 本機に強い衝撃を与えないでください。本機が破損するおそれがあります。

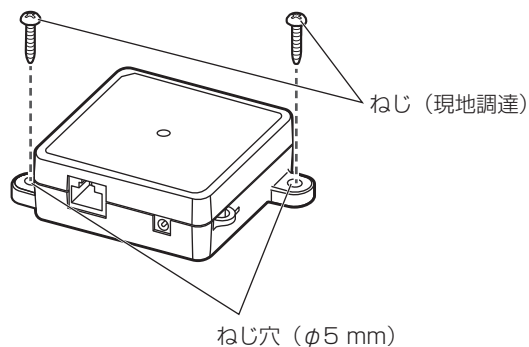
## LANケーブルについて

- ケーブルは付属していません。カテゴリ-5（またはカテゴリ-5e、カテゴリ-6）ストレート結線のネットワークLAN対応のケーブルを別途ご用意ください。ケーブルの長さには制限があり、接続のしかたにより異なります。詳しくは「接続のしかた」（14、16ページ）をお読みください。

# 設置のしかた

## ■ 固定方法

必要に応じて、固定ねじ穴にねじ（現地調達）で固定することができます。



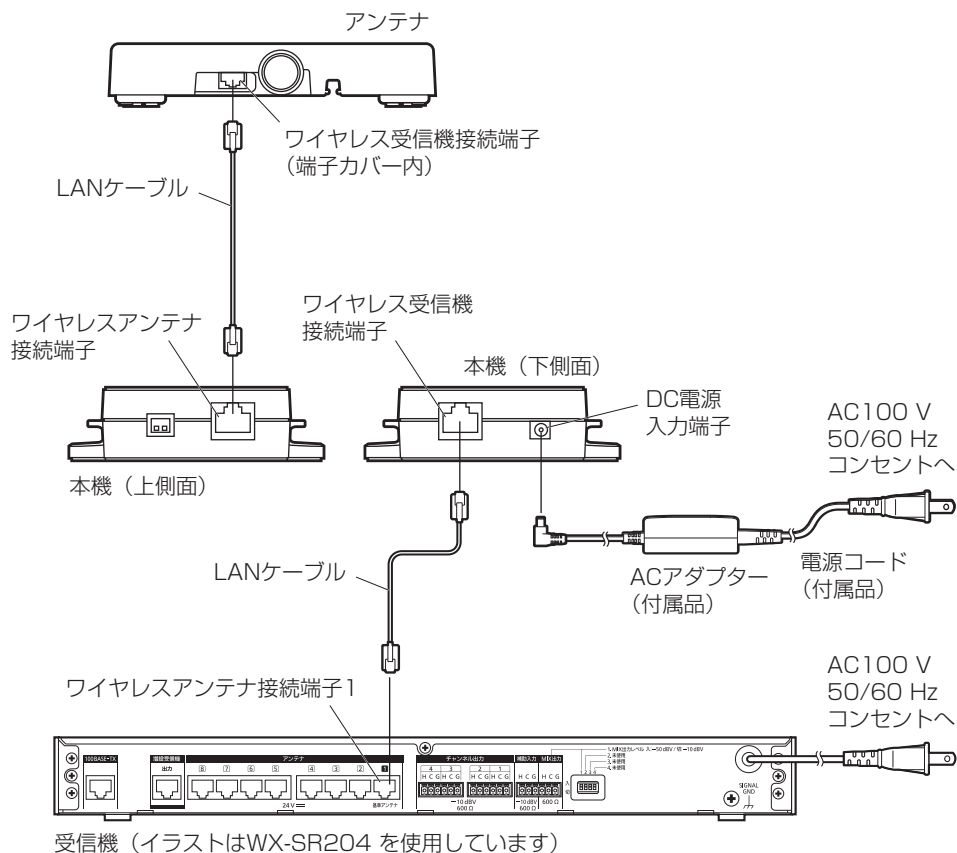
- 本機を取り付けるためのねじは付属していません。取り付ける設備の材質や構造に合わせてねじを調達してください。
- ねじは、木ねじの例として呼び径 4.8 長さ20 mmを目安に準備してください。

# 接続のしかた

## ■ アンテナ、受信機の接続

アンテナと受信機の間には本機を接続することで受信機の電源「入/切」に関わらず、アンテナに電源を供給できます。

### 1 アンテナと本機、および本機と受信機をLANケーブル（11ページ）で接続する



## 接続のしかた



重要

- 本機のワイヤレスアンテナ接続端子の仕様は本機専用となっています。本機をPoE給電装置（給電機能付きハブもしくはルーター）には接続しないでください。故障の原因となります。
- 本機と受信機、およびアンテナは必ずストレートケーブルで接続してください。クロスケーブルで接続すると故障の原因になります。
- 本機に受信機とアンテナを接続した場合、一度、受信機の電源が「入」になると、アンテナの電源が「切」になるまで、受信機で設定したアンテナ・フィールド選択の設定が保持され、本機のアンテナ・フィールド選択設定スイッチの設定は無効となります。
- 停電などで本機の電源供給が遮断されるなどして、一時的にアンテナの電源が「切」になると、再度、受信機の電源が「入」になるまで、アンテナは本機のアンテナ・フィールド選択設定スイッチの設定で動作します。

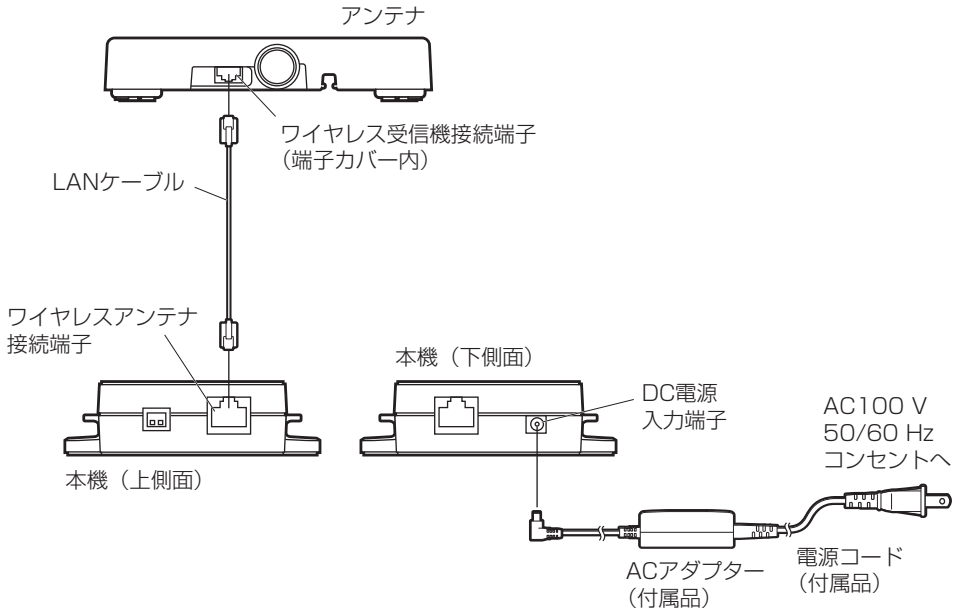


- LANケーブルは、アンテナ－本機間のケーブル長と本機－受信機間のケーブル長の合計で200 m以内となるようにしてください。
- 受信機の電源が「切」の場合でも本機からアンテナへの給電が可能です。
- 本機のACアダプターは常時、AC100 Vが供給される電源コンセントに接続してください。電源制御ユニットに接続する場合は、電源制御ユニットの電源スイッチとリモートコントロールに連動しない電源コンセントに接続してください。
- 複数の受信システム（受信機）間の干渉を低減するため無線同期させて使用する際、その中の1つの受信機をメインシステムに設定する場合は、メインシステムに設定した受信機の基準アンテナ（受信機後面の [アンテナ1] 端子に接続されたアンテナ）を常時通電させる必要があります。基準アンテナに本機を使用することで受信機の電源が「切」の場合も基準アンテナの常時通電が可能となり、メインシステムに設定した受信機の常時通電が不要となります。詳しくは受信機の取扱説明書の「無線同期設定」をお読みください。

## ■ アンテナの接続（受信機なしの場合）

アンテナを受信機に接続せず、本機のみと接続することにより、アンテナを同期専用アンテナとして常時通電させることができます。

### 1 アンテナと本機をLANケーブル（11ページ）で接続する



## 接続のしかた



- 本機のワイヤレスアンテナ接続端子の仕様は本機専用となっています。本機をPoE給電装置（給電機能付きハブもしくはルーター）には接続しないでください。故障の原因となります。
- 本機とアンテナは必ずストレートケーブルで接続してください。クロスケーブルで接続すると故障の原因になります。



- LANケーブルは、200 m以内のものを使用してください。
- 本機のACアダプターは常時、AC100 Vが供給される電源コンセントに接続してください。電源制御ユニットに接続する場合は、電源制御ユニットの電源スイッチとリモートコントロールに連動しない電源コンセントに接続してください。
- 複数の受信システム（受信機）間の干渉を低減するため無線同期させて使用する際、その中の1つの受信機をメインシステムに設定せず、同期専用アンテナを用いる場合は、アンテナに本機のみを接続して、同期専用アンテナとして動作させてください。この場合は同期専用アンテナがメインシステムの基準アンテナ（受信機後面の「アンテナ1」端子に接続されたアンテナ）に相当しますので、無線同期させる他の受信機は常時通電が不要となります。詳しくは受信機の取扱説明書の「無線同期設定」をお読みください。

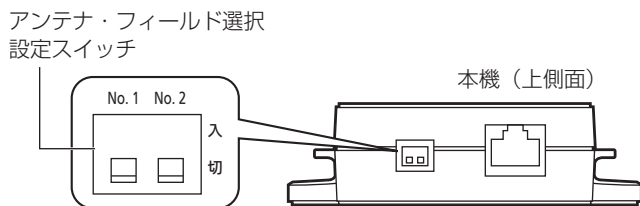


# 設定のしかた

## ■ アンテナ・フィールド選択

本機に受信機が接続されておらず、本機に接続されたアンテナを同期専用アンテナとして動作させている場合、本機のアンテナ・フィールド選択設定スイッチにより、本機から給電しているアンテナの無線出力レベルを切り換え設定できます。

無線出力（アンテナ・フィールド選択）は、使用環境に合わせて適切な設定をしてください。



設定スイッチ		アンテナ・フィールド選択	無線到達距離の目安※
No.1	No.2		
入	入	小	半径約30 m
入	切		
切	入	中	半径約40 m
切	切	大（工場出荷設定）	半径約60 m

※ 同期専用アンテナの無線到達距離の目安

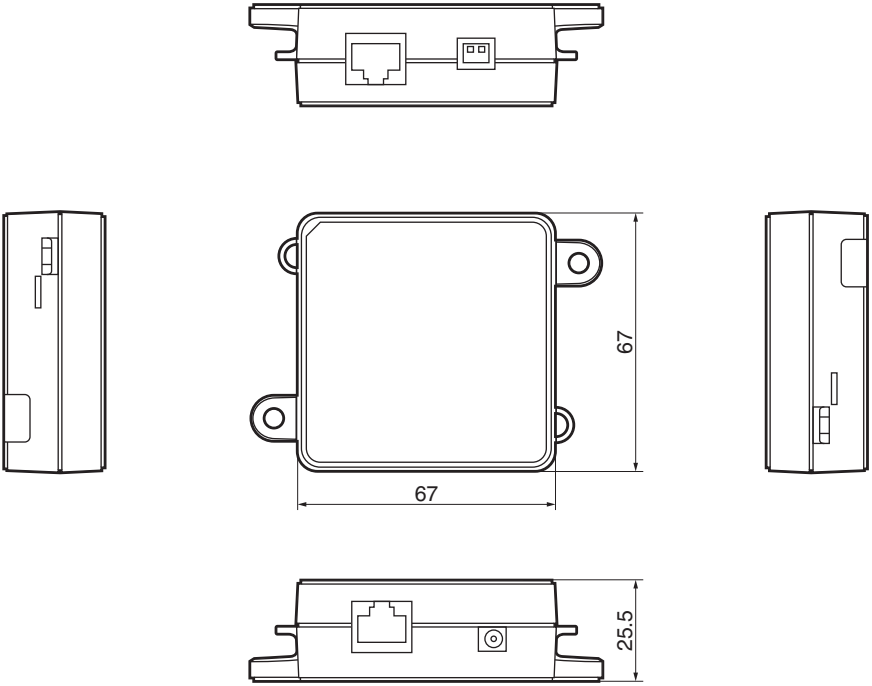


重要

- 本機能は本機に接続されたアンテナを同期専用アンテナとして使用する場合のみ有効となります。
- 本機に受信機が接続されている場合、本機のアンテナ・フィールド選択設定スイッチによる設定は無効となり、受信機側からの設定が有効となります。本機のアンテナ・フィールド選択設定スイッチは工場出荷設定（No.1、No.2ともに「切」）でご使用ください。
- ワイヤレス受信機の取扱説明書もあわせてお読みください。

# 外形寸法図

単位：mm



その他

# 故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ
本機を接続したアンテナの電源が入らない、または受信機接続時に受信機を電源「切」にするとアンテナの電源が入らない	● 電源プラグが電源コンセントに確実に接続されていますか？ ➡ 接続されているか、確認してください。	13
	● 電源コードがACアダプターに確実に接続されていますか？ ➡ 接続されているか、確認してください。	13
	● ACアダプターのDCプラグが本機のDC電源入力端子に確実に接続されていますか？ ➡ 接続されているか、確認してください。	13
	● LANケーブル（11ページ）が外れていませんか？ ➡ 本機とアンテナとの接続を確認してください。	13

# 仕様

電源		AC100 V 50 Hz/60 Hz (付属品専用ACアダプター使用)
消費電力		約8 W
ワイヤレスアンテナ 接続端子	コネクター	RJ-45
	使用ケーブル	CAT5/CAT5e/CAT6 ストレートケーブル
ワイヤレス受信機 接続端子	コネクター	RJ-45
	使用ケーブル	CAT5/CAT5e/CAT6 ストレートケーブル
アンテナ・フィールド選択		3段階切り換え (受信機未接続時に切り換え可能)
使用温度範囲		0℃～45℃
使用湿度範囲		10%～90% (結露なきこと)
寸法	本体	約67 mm (幅) × 25.5 mm (高さ) × 67 mm (奥行き) (突起部を除く)
	ACアダプター	約75 mm (幅) × 27.3 mm (高さ) × 47.5 mm (奥行き) (DCケーブル、電源コードを除く)
質量	本体	約62 g (ACアダプター、電源コードを除く)
	ACアダプター	約138 g (電源コードを除く)
仕上げ	本体	ABS樹脂 黒色 (マンセルN1近似色)

# 保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	(       )       -
お買い上げ日	年       月       日

修理を依頼されるときは「故障かな!？」(19ページ)でご確認のあと、電源コードおよびLANケーブルを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	アンテナ給電ユニット
●品番	WX-SA001
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

**技術料** 診断・修理・調整・点検などの費用

**部品代** 部品および補助材料代

**出張料** 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

その他

## 長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

### このような状態ではありませんか？

- 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。
- 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても、音が出てこない。
- その他の異常・故障がある。

### 直ちに使用を中止してください

故障や事故防止のため、**電源を切り**、必ず販売店または施工業者に**点検や撤去**を依頼してください。



取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** 受付：9時～17時30分  
(土・日・祝祭日は受付のみ)  
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは

[https://biz.panasonic.com/jp-ja/support\\_cs-contact](https://biz.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact)

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

#### 【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

## パナソニック コネクト株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic Connect Co., Ltd. 2022

PGQX2233YA  
FV0318-1042  
Printed in Vietnam